



町民一人ひとりの力を結集した取り組みを

長島町長 川添 健

新年あけましておめでと
うございます。

皆さま方には長島町行政推
進に対し、深いご理解とご支
援をいただき厚く御礼申し上
げます。

平成20年は新生「長島町」
3年目で、合併後の旧両町間
の融和と地域および制度の格
差是正、さらにはまちづくり
施策に懸命に取り組んでまい
りました。

特に生活体系の基本であり
ます道路整備は本町の重要な
課題であることから、9月に
「県道長島宮之浦港線（平尾
地区）整備」の早期実現に向
けた現地調査および意見交換
会を実施しました。現地視察
では県議会議員、県関係者、
地元関係者の皆さまと、児
童・生徒の登校の様子や交差
点、道路の混雑具合、離合の

危険性などの確認を行い、意
見交換を通じて地域住民、議
会の皆さまの協力を得て、事
業の見通しがつくまで、行動
とお願いを続けなければなら
ないことを確認しました。

さらに産業道路として整備
する平尾の萩之牟礼茅屋線お
よび旧両町間の基幹道路の山
門野汐見線は、平成20年度か
ら5カ年計画で整備を進め、
完成の暁には産業道路・生活
道路として計り知れない役割
を果たすものと考えます。

去る12月4日には待望の
「上り浜橋」開通式が行われ、
未来に繋がる架け橋が完成し
ました。道路は生活体系の基
本であり、物流や観光の面で
も活性化が見込まれることか
ら、道路整備に町づくりの夢
を描き、整備促進をさらに進
めてまいります。

長島の玄関口である火ノ浦
地区に「黒之瀬戸大橋公園」
整備を進め、現在、敷地造成
中であります。平成22年春に
長島物産館（仮称）の完成を
目指し、完成後は、県のブラ
ンドであります赤土バレイシ
ンやブリをはじめ、本町の新
鮮な農水産物販売の拠点施設
として期待されているところ
であります。

平成19年4月には「長島ふ
るさと景観条例」を施行し、
ふるさとの豊かな海、山の美
しい自然や歴史的文化遺産を
生かしながら、町民一丸とな
って「花と石積み」をキ
ャッチフレーズに長島を一周
する国道・県道沿いを花と石
積みでつなぐ「ぐるっと一周
フラワーロード事業」を展開
しています。また、平成23年
春に全線開通する九州新幹線

を利用する都市部からの観光
客に対しても、景観づくり事
業を通じてふるさと長島をア
ピールして交流人口の増加を
目指します。

ふるさと納税制度の創設に
伴いまして、ふるさとを大切
にしたいという皆さまから、
既に90件余りの寄附をいただ
き、皆さまの善意をふるさと
長島のために有効に活用させ
ていただきます。

9月には生活する中で欠か
せない消防、救急体制の再編
が行われ、最も有効的な管轄
区域の設定や消防無線通話不
能地区、不良地区の解消を図
ったところです。今回の再編
整備で安心・安全な環境を整
えることができました。

11月には「長島おさかな祭
り」を開催し、県内外から
1万4000人を超える参加
者を迎えて盛大に開催するこ
とができました。この事業は
水産庁所管で、多くの自治体
が応募し、全国で7自治体が
採用されたもので、多くの皆
さまに十分堪能していただい
たものと確信しています。

私は、平成21年の年頭にあ
たり、これまでの成果を踏ま
え、長島町総合振興計画（フ
ル・デュー・プラン）の基本
方針であります「夢と希望に
満ちたまちづくり」、「快適で
住みよいまちづくり」、「活力
あるまちづくり」、「健康で生
きがいのもてる福祉のまちづ
くり」、「地域の特性を生かし
た教育・文化のまちづくり」、
「自主性、自立性が高く町民
が主体のまちづくり」の6項
目の推進に全力を傾注してま
いります。また、福祉の充実
したまちづくりには、福祉事
務所を拠点に、迅速丁寧でき
め細やかな対応を行います。

今年、隔年開催の「長島
造形美術展」開催年に当たり
ますので、住民の理解を得な
がら、融和がさらに図られる
ことを期待するものでありま
す。

長島町総合振興計画推進の
ため、町民一人ひとりの力を
結集した取り組みを誓い、皆
さまのご健勝とご活躍を心か
らご祈念申し上げます。年頭のご
あいさつといたします。